

施設概要

(令和6年4月1日現在)

施設名		開館時間			
西白井コミュニティプラザ		午前9時～午後9時			
所在地	〒270-1408 白井市西白井2-16-1	併設施設	なし		
TEL	047-497-5771	FAX	047-497-5772		
メール	mail@nishishiroi.jp				
休館日	火曜日・国民の休日、 12月29日～翌年1月3日	駐車場	30台（内、障がい者専用2台 縦列スペース14台）		
職員構成 R6年4月現在	センター長 1名（常勤）事務職 1名（非常勤）事務職 3名 合計 5名				
貸出施設	1時間あたりの施設使用料（社会教育認定団体は2分の1）				
	施設名		定員		
	9:00～21:00		付帯設備		
	調理室	会議利用	24名	350円	机4台・椅子24脚・ホワイトボード ※会議利用の場合、調理器具一式および 水道ガスは使用不可
		調理利用		720円	机4台・椅子24脚・ホワイトボード 調理用具・食器一式・炊飯器 スチームオープンレンジ 可動式キッチンカウンター
	和室1		18名	250円	※各部屋 座卓6台・座布団24枚・座椅子5脚
	和室2		18名	250円	※和室1のみ 舞台（調光機能付照明有）
	会議室1		30名	350円	※各部屋 机10台、椅子30脚 ※会議室1 大型スクリーン
	会議室2		30名	350円	※会議室1・3 備付ホワイトボード
	会議室3		30名	350円	可動式演台 1台
※営利目的使用の場合は、上記料金の3倍となります。					
その他施設	子ども室（定員16名）、2色刷印刷機（ティールグリーン・ブラック） 多目的ロビー（円卓2台、長机7台＜作業台1台含む＞／椅子22脚） ※平日のみ小学生までと中学生以上で区画を分けています				
貸し出し 可能備品	【館内限定】 TV、プロジェクター、DVDプレーヤー、HDMIケーブル、延長コード、CDラジオ、 ワイヤレスマイク2本&アンプ、可動式ホワイトボード、ホワイトボードマーカー、Wi-Fi、 卓球台（会議室のみ）、スポーツミラー（会議室・和室のみ）、麻雀卓（会議室・和室のみ）				

令和5年度 公民館等団体別利用状況 (西白井コミュニティプラザ)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	12	111	43	391	16	98	8	84	37	300	16	46	132	1,030
5	12	106	37	371	20	119	7	70	43	328	19	88	138	1,082
6	13	102	38	334	21	101	9	90	52	385	34	227	167	1,239
7	12	127	41	312	21	116	8	80	63	646	38	190	183	1,471
8	9	84	30	262	16	86	9	95	59	1,069	30	175	153	1,771
9	11	93	37	285	15	80	8	78	55	578	29	180	155	1,294
10	11	103	38	271	18	104	8	76	57	544	36	151	168	1,249
11	11	118	50	345	20	128	9	74	55	544	34	170	179	1,379
12	15	133	38	315	16	90	7	57	53	599	22	194	151	1,388
1	11	100	42	375	15	75	7	55	56	527	29	126	160	1,258
2	10	91	55	470	12	73	8	79	51	392	25	104	161	1,209
3	11	101	58	474	15	81	7	64	53	454	35	161	179	1,335
合計	138	1,269	507	4,205	205	1,151	95	902	634	6,366	347	1,812	1,926	15,705

☐ の合計が必ず一緒になるように

各部屋の年間利用率を記入する欄を追加しましたので忘れずに記入してください。
年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。(小数点第2位を四捨五入)

令和5年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
会議室1・2・3	9	734	1.3
会議室1・2	68	1,033	5
会議室2・3	82	879	5.9
会議室1	562	4,077	31
会議室2	187	1,043	11
会議室3	388	2,502	24.3
和室1・2	75	837	5.2
和室1	326	2,018	18
和室2	70	387	6.9
調理室	159	2,195	10.9
合 計	1,926	15,705	

令和5年度西白井コミュニティプラザ 事業報告

1 運営方針

(1) 全体の運営方針

- ・「個人」と「集合体」のつながりをコーディネートし、“コミプラファミリー”の拡大を図る
- ・白井市民の「架け橋」となり『どんな事もつながる』を目指すべく、地域コミュニティの核としてあらゆる世代を対象とした情報の集約・発信を行う

(2) 令和5年度 重点的に実施した項目（講座・事業など）

- ・大人のならいごとシリーズ
- ・やってみよう講座
- ・サークル応援団
- ・アロマ講座

2 西白井コミュニティプラザ講座実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学級講座名	回数	参加人数
市民相互の 交流や地域 コミュニティの推進	アロマ講座～第2弾～夏に爽やか！爽快アロマのロールオン作り	2回	4人
	サークル応援団～マーリエさん～	1回	3人
	己書体験幸座	2回	15人
	大人のならいごとシリーズ～書道編～美文字講座	16回	10人
	おやこの料理教室	1回	22人
	コミプラこどもまつり	1回	延べ 500人
	アロマ講座～第3弾～ローズマリーバームとアロマの虫よけスプレー作り	1回	5人
	リズムdeあそぼう	1回	39人
	大人のならいごとシリーズ～手芸編～	1回	9人
	しろい楽トレ体操	13回	5人
	大人のならいごとシリーズ～健康麻雀編～	32回	24人
	ハロウィンイベント ～かぼちゃの重さ当てクイズ～	1回	62人
	やってみよう講座～バランスボール体操～	1回	20人

	アロマ講座～第4弾～アロマのハンドクリームと はちみつのリップクリーム作り	1回	5人
	大人のならいごとシリーズ～折り紙編～	2回	14人
	コミプラクリスマス リズムdeあそぼう～クリスマス Special～	1回	52人
	コミプラクリスマス コミプラサンタ Greeting	1回	48人
	ハンドメイド講座 しめ飾り作り	1回	20人
	書初め教室	2回	16人
	バレンタインクッキング PHOTO ～チョコとバナナの蒸しケーキ～	2回	22人

(2) 講座以外に行った事業

- ・中高生を対象とした自習室開放（毎開館日17～20時）登録者86人（延べ442人）
- ・安心して過ごせる子ども達の居場所づくり「放課後倶楽部 ここいこ。」 登録者4人
- ・地区社協との共催事業 子育てサロン「子育ておしゃべり会」 延べ32人

(3) 情報の提供

- ・コミプラかわら版の作成（毎月）
（「コミプラかわら版」を館内ロビーに掲示し、コミプラホームページにも掲載）
- ・ミニプラ通信の作成（不定期）（ロビーにて配架、コミプラホームページにも掲載）
- ・広報しろいへのセンター開催事業情報の掲載
- ・コミプラホームページへの掲載
- ・SNS（しろいまっち、X、Instagram）を活用し、より広域への周知を徹底

(4) 施設の提供

- ・利用者の平等性を重んじ、公平な貸館業務の徹底
- ・利用者からの意見・要望を可能な限り反映し、利用しやすい施設／設備の提供
- ・館内外の環境美化に努め、居心地の良い空間づくり
- ・様々な問合せに対し、適切な部署への確に繋げるようネットワークの確立を継続

(5) 「with コロナ」「after コロナ」時代に向けた対応

- ・コロナの5類への移行を機に、利用後の利用者による備品の消毒協力依頼は撤廃
ただし、自主的に消毒をする団体用に貸出用消毒液を常備。職員による消毒は継続
- ・マスク着用については、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断に委ねた
- ・入口検温機、消毒液については、引き続き設置 検温や手指の消毒協力依頼は撤廃
- ・利用中の換気については、団体の判断に委ねた

3 事業の評価

(1) 分野別方針

対象	評価
市民相互の交流 や地域コミュニティの推進	◎「全何回」というスタイルで講座を開催したことで、時間にゆとりをもって学んだり体験したりすることが出来ただけでなく、参加者同士が交流する時間をとることができたため、それが高確率でのサークル化に繋がったと思う。 △人気講座は、募集枠があつという間に埋まってしまい、キャンセルもなかなか出ないことから、多くの参加希望者の要望に沿うことができなかったことが心苦しかった。 △営利団体・非営利団体とも、参加人数が減少傾向にある印象がある。コミュニティ育成を目的とする館として、来年度はそれぞれの活動の存続と活性化をサポートすべく、“サークル応援団”や“やってみよう講座”シリーズの実施に力を入れていきたい。

(2) 令和5年度重点的に実施した項目（講座・事業など）

評価
① 「大人のならいごとシリーズ～健康麻雀編～」 身体健康維持を図る取り組みは多く見受けられ、実際にしろい楽トレ体操も実施してきたが、それと並行して“脳の健康”に着目。“健康麻雀”の普及にチャレンジした。参加希望者は予想をはるかに超え、申し込みが殺到。キャンセル待ちが多く出たため、追加で講座を行った。「健康麻雀を行いたくても仲間が集まらない」という不安や、「昔少ししたことはあるが忘れてしまっていることも多く学びなおしたい」という意欲的な声も多く、様々な思いを持ちながらも10週連続の講座に参加することで、自然と仲間ができ、サークル化にまで至ったことは大変嬉しく思う。 ② 「大人のならいごとシリーズ～書道編～美文字講座」 これまでの単発講座ではなく、月2回講座を年度内いっぱい継続開催、かつ、開催時間枠内であれば自由参加可という新たなスタイルを取り入れた。 時間に縛られることなく、また、「行かなければいけない」という義務感からも解放され、思いのままに参加できるスタイルは、参加者に選択肢を与えることができ、結果的に、力を抜いて楽しみつつ学んでもらえる時間となった。講師や参加者同士の交流も回を重ねるごとに増え、ワンチームとなっている雰囲気を感じることができた。 ③ 「子育て応援企画～リズムd e あそぼう～」 子育て世代の方を主な対象者として、音楽とダンスを取り入れたプロによるステージを開催。参加者を和ませる温かいトーク、テレビの歌番組でおなじみの曲をバックに、簡単に参加できるリズム遊びを取り入れたショーは参加者同士の距離感を自然と縮め、同世代のお子さんをもつ親子同士の交流を芽吹かせる場を提供できたと思う。

事業活動

事業名	アロマ講座～第2弾～夏に爽やか！爽快アロマのロールオン作り		
対 象	市内在住・在勤の方		
参加人数	4人		
事業の課題と目標			
課 題	・夏バテや熱中症予防に利用できる、季節に応じた商品の作成。 ・心と体をアロマで癒してもらった講座にすること。 ・誰でも参加しやすい金額設定と数居の低い初級の講座の設定。 ・すぐに使用感を試せる商品の作成。		
目 標	・SDGsを意識した生活をしてもらう。 ・地域住民の方たちの交流の場になる。 ・手軽にアロマグッズを作成してもらう。 ・		
期 間	令和5年6月18日	回 数	2回
場 所	西白井コミュニティプラザ 調理室		
事業参加者への配慮等	・講座を午前午後と2回に分け、金額も安くしたので、参加しやすくなった。 ・前回の講座を鑑みて、1回の講座の人数を減らし、講師が参加者により丁寧に説明しやすい環境を作った。 ・レジュメを作成し、参加者が帰宅後も自宅で作れるように配布した。 ・講座の参加時にホワイトボードを使用して、写真などや図を書いて分かりやすく説明した。 ・ベースとなる香りを予め講師の方が設定し、香りを選びやすくなった。 ・複雑な専門用語などは使わず、簡単な単語や分かりやすい言い方に替えて説明した。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・複雑なブレンドも、香りを選びやすくし、初心者でもブレンドを楽しめるように工夫した。 ・参加者が「帰ってまた作った。」「好きな香りで作れて嬉しい」と喜んでた。 ・毎月コミプラでアロマ講座をやった欲しいという意見が多かった。 ・初めて会った方々が、同じテーブルになった方々と楽しそうに香りを選んでた。 ・アロマオイルは扱いが難しく、ハードルが高いイメージだったが、今回体験した事でさらに学びたくなったとの意見があった。アロマオイルへの意識が高まったように思う。		
備 考	・リピーターの参加者がいた。 ・ ・ ・ ・ ・		

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	6月18日	アロマオイルの初級講座 季節に合ったアロマを使用するのロールオンを作成する講座 【午前】3人 【午後】1人	モノづくりの良さを知らしてもらおう事。 コミプラの利用促進と周知。 講座を通して、趣味の合う仲間とのコミュニケーションを取る。 健康維持。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	サークル応援団～マリーエさん～		
対 象	市内在住・在勤の女性		
参加人数	3人		
事業の課題と目標			
課 題			
・サークルが行っているフラダンスに参加してもらう。			
・サークル活動について知ってもらう。			
・サークル新規加入者獲得の為の講座の設立。			
・習い事をしてみたい方と会員を募集している団体の懸け橋になること。			
目 標			
・コミプラで活動しているサークルへの新規加入者獲得。			
・サークルの活性化と利用促進。			
・			
・			
期 間	令和5年6月30日	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室1		
事業参加者への配慮等			
・体験会を開くことで、入会する事の敷居を低くした。			
・入会する前にサークルメンバーとコミュニケーションをとことができ、サークルの雰囲気や既存メンバーの方との相性も肌で感じることができる。			
・積極的にサークルをアピールできる場を持つことで、既存の団体メンバーにも気合が入る。			
・			
・			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・参加者3人中、加入者2人。			
・サークルメンバーに大好評だった。			
・講座後にサークルに関する問い合わせがあった。			
・コミプラで行っている他のサークルへの問い合わせもあった。			
・			
・			
備 考			
・応援団という名の体験会を開いたことで、企画自体がすごく良かったと団体から好評だった。			
・入会希望の方が体験会に来た。			
・入会に興味はあるが、どんなサークルか分からない為、問合せすら躊躇していた方が体験に来ていた。			
・			
・			
・			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	6月30日	フラダンスの体験会 サークルメンバーの方と講座の参加者の方が同じ曲で一緒に踊る。	サークル活動の活性化。 新規加入者の獲得。 地域住民と団体とのつなぐ場所となる。 フラダンスへ興味を持ってもらう。 コミブラとサークルの利用促進と周知活動。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	己書体験幸座		
対 象	市内在住・在勤者		
参加人数	15名		
事業の課題と目標			
課 題			
・書を楽しんでもらう。			
・己書に参加することで、自分の字を好きになってもらう。			
・人気の講座を行うことでコミブラで行うことで館に足を運んでもらう。			
・			
目 標			
・書を通して、何でも正解という笑笑道場で自己肯定感の向上。			
・笑笑道場の講座に来てもらうことで、コミブラをより知ってもらう。			
・笑笑道場の新規加入者の獲得と周知活動。			
・			
期 間	令和5年7月9日	回 数	2回
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室3		
事業参加者への配慮等			
・人気の講座のため、なるべく多くの方に参加してもらうよう午前午後の2回、講座を行った。			
・講座のハンドリングを全て講師にお願いしたことで、コミブラで行っている笑笑道場の雰囲気伝わった。			
・			
・			
・			
・			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・昨年度も同じ講座があり、コミブラスタッフ自身も手慣れており、スムーズに講座を終える事ができた。			
・笑笑道場への入会者がいた。			
・全員の字を黒板に掲示、「すべていい！すべて正解！」と言う先生の言葉に、みな顔がほころんでいた。			
・			
・			
・			
備 考			
・小学校で習う書道とは違いです、と先生が説明し、書き順を逆から描いたりすることで参加者から驚きの反応があがっていた。			
・参加者皆、自分の好きなように書いていたため、すごく楽しそうだった。			
・「基本から勉強したい」と、すでに別の館で笑笑道場に参加しての方が講座に参加された。			
・			
・			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月9日	己書体験幸座 講師の方に初心者用のサンプルを準備してもらい、それを参考に己書を体験する。	笑笑道場のサークルの活性化 コロナがあけたことで、何かを始めたいと感じている方が多い中、己書を通じて自身の趣味なども見つけてもらう。コミブラを活用してもらう。 自己肯定感の向上を目指す。 コミブラの利用促進と周知活動。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	大人のならいごとシリーズ～書道編～		
対 象	市内在住・在勤の大人		
参加人数	10人		
事業の課題と目標			
課 題			
・個人のレベルや希望に合わせた講座にする。 ・ペン習字が上手くなることで、自己肯定感の向上。 ・参加者同士でコミュニケーションが取りやすいような雰囲気の講座にする。 ・			
目 標			
・地域交流の場となること。 ・サークル化。 ・ ・			
期 間	令和5年7月15日～令和6年3月16日	回 数	16回
場 所	西白井コミュニティプラザ 調理室		
事業参加者への配慮等			
・使用するベンについて事前に講師と相談し、練習しやすいベンを参加者にお勧めした。 ・コミプラ職員も講師の補助として講座へ参加し、参加者の要望を聞き取り先生へ伝えたり、困っている方にはこちらから声をかけるなどして、雰囲気良い講座を目指した。 ・講師と参加者の間に入り、コミュニケーションの網渡しをした。 ・参加者の多くが、祝儀袋などに書く自分や家族の名前や住所を練習しに来ているため、実際の祝儀袋などのコピーを参加者全員に配った。			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・コミプラ職員が補助に入ったことで、雰囲気が明るくなり、先生への質問がしやすい講座になった。 ・質問できることで、参加者の字がみるみる上手くなっているのが、目に見えて分かった。 ・参加者同士でのコミュニケーションも上手く取れていた。 ・参加者の講座の満足度が高かった。 ・ ・			
備 考			
・お勧めしたベンが好評で、予備に買って帰りたいと申出る方がいた。 ・自分の字に劣等感を持っている方が多かった。 ・ ・ ・ ・			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月15日～ 3月16日	筆ペン講座（筆タッチペンを使用） 個々にどんな講座が良いか内容を聞き、希望やレ ベルを合わせた講座	筆ペンの上達 地域コミュニティの形成。 サークル化。 同じ目標を持った方と楽しく上達してもらう。 仲間づくりへの協力。 講師に聞きやすい環境を作り、美文字講座へ定期的に 通ってもらうことで、定期的利用を促す。 コミプラの周知活動。
2			〃
3			
4			
5			

事業活動

事業名	おやこの料理教室		
対 象	未就学児とその保護者		
参加人数	22人		
事業の課題と目標			
課 題			
・ハンバーグという誰でも聞いたことのあるメニューを調理する。 ・子どもに料理を教えたいが、何から教えたら良いかわからない保護者が多いため、そのきっかけになる講座とする。			
・親子で参加できる講座にする。			
目 標			
・SDG'sに興味関心を持ってもらい、親子で食への理解を深めてもらう。 ・コミブラで調理もできることを知ってもらう。コミブラの周知と利用促進。 ・同じような子育て世代同士が繋がることのできる講座にする。			
・			
期 間	令和5年8月9日	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ 調理室		
事業参加者への配慮等			
・予想よりも申し込みが多く、定員枠を増やした。 ・対象を未就学児と保護者に限定し、同じ環境の方だけで講座を行った。 ・小さいお子さんを連れての参加も多かったため、怪我や事故に配慮し、おんぶで対応してもらえよう呼びかけた。 ・兄妹も参加したいという声があったため、追加料金を取り受け付けた。 ・子どもが興味を引くような盛り付けにした。			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・料理教室で初めて会った方々が講座後にそのまま子ども室やロビーで談話していた。 ・パネルシアターを先に行ったことで、小さい子にも分かりやすく説明することができ、調理過程だけではなく食の大切さもわかってもらった。 ・親同士も仲良くなり、話に花が咲いていたようだった。 ・ ・			
備 考			
・小さい子をお連れの方にはおんぶをお願いしたことで、作業工程が多かったが事故や怪我もなく安全に講座を修了することができた。 ・当初4組の予定だったが、すぐに枠が埋まってしまったため、8組に増枠 ・ ・ ・			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	8月9日	親子で行う料理教室 参加者 8組22人 メニュー：お花のハンバーグ、お星さまのスープ、フルーツヨーグルト 最初に会議室でパネルシアターを行ったのち、調理室に移動し、調理を開始。最後はみんなでいただいた終了。	SDGs コミブラの周知と利用促進。 食への関心を深めてもらう事。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	コミブラこどもまつり		
対 象	一般		
参加人数	延べ500人		
事業の課題と目標			
課 題	・ こどもをメインに扱う団体さんへの出演依頼。 ・ サークルの事をよく知ってもらえるように、イベントの周知活動。（小学校などへチラシの配布） ・ 近隣のお店に出店依頼。 ・ 近隣のお店に駐車場を貸して頂く事への相談。		
目 標	・ コミブラで発表会を行うことでサークルと近隣の方々の架け橋になること。 ・ サークルの活性化。 ・ コミブラ初のお祭りの成功。 ・ 地域の活性化。		
期 間	令和5年8月20日	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ 全館		
事業参加者への配慮等			
・ 舞台の使用時間や内容を聞き取り、なるべく希望に沿うように配慮した。 ・ 出店者になるべく手の届きやすい価格設定をお願いした。 ・ コミブラらしいお祭りになるように装飾ひとつに気を配った。 ・ こどもが楽しめるように出し物などにも配慮した。 ・ 靴の脱ぎ履きができるべくないよう会議室にブルーシートを敷いた。 ・ 出店者にはこどもでも手の取りやすい金額設定をお願いした。			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・ 習い事を探しているご家族をこどもまつりに紹介し、サークルとの懸け橋となった。 ・ 発表会をすることで目標を持って活動してもらい、サークルの活性化に繋がった。 ・ 小学校へチラシを配ったことで、コミブラの周知につながった。 ・ 近隣地区でのイベントが少なかったようで、地域の方に喜んでもらえた。 ・ 発表の場を作ったことで、ご家族にもすぐ喜ばれた。 ・ 発表会をみて、サークルに入会する方がいた。			
備 考			
・ 大規模なおまつりになった。 ・ コミブラで活動されているお子さんの保護者の方々も大変楽しめた、とお褒めの言葉を頂いた。 ・ ・ ・			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	8月20日	コミブラで活動している団体で主にこどもをメインに活動している団体の発表会。 白井市内にある個人店に声をかけ、出店してもらった。 小学校への周知活動も行った。	今回のテーマは【つなぐ】 白井市でこどもを中心に活動されているサークルと、 習い事をしたい地域の方をつなぐ。 地域の活性化。 コミブラの周知と利用促進。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	アロマ講座～第3弾～ローズマリーバームとアロマの虫よけスプレーづくり		
対 象	市内在住・在勤の成人		
参加人数	5人		
事業の課題と目標			
課 題	・家の庭などに咲く、繁殖力の高いローズマリーの活用方法についての講座を行う。 ・アロマオイルの使い方や効能を知ってもらう。 ・今すぐ使える時期の物を作成し、すぐに効果を実感してもらう。 ・初心者でも知っているアロマオイルを使用する。誰でも参加可能な講座にする。		
目 標	・モノづくりの楽しさを知ってもらう。 ・コミブラの周知と利用促進。 ・健康維持への寄与。 ・アロマオイルへの興味を深めてもらい、定期的にあるアロマ講座への参加を促す。		
期 間	令和5年8月27日	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ 調理室		
事業参加者への配慮等			
・普段使えないような基材を準備した。 ・レジュメを作成し、帰宅後も同じものを作れるようにレシビを渡した。 ・一人一人の満足度を高めるため、少人数制の講座にした。 ・すぐに使えるよう、夏に活躍するアイテムを作成した。（時期ものの作成） ・ ・			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・アロマ講座に参加したくて、初めてコミプラを訪れた人がいた。 ・夏向けのアイテムだったため、参加者にすぐに使用してもらうことができ、すごく喜ばれた。 ・自宅に帰っても絶対に作る。とおっしゃっている参加者多かった。 ・もっとアロマオイルを知りたい。別の物も作成したい。また講座をしてほしいと要望を頂いた。 ・ ・			
備 考			
・手間のかかる基材を講師の方で作成し、今回の講座に使用したことで参加者に大変喜ばれた。 ・今回作成したスプレーは虫よけスプレーだったが、美肌効果もあることを説明すると、ビックリされた。 ・ ・ ・ ・			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	8月27日 くり	アロマ講座 申込6人 参加者5人 欠席者1人 ローズマリーバームとアロマの虫よけスプレーづくり ローズマリーのチンキ剤を使用して、バームを作成。同時に同じ基材を使用し、虫よけスプレーも作成した。	アロマや植物の力を借りて、健康維持に寄与する。身の回りにあるものを利用して、手作りのアロマグッズを作成してもらう。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	リズム de あそぼう		
対 象	0歳からの子どもと保護者		
参加人数	39人		
事業の課題と目標			
課 題			
・乳幼児が活動しやすい午前中でのイベントの時間設定。			
・子供向けのイベントの開催。			
・他センターへ周知目的でのイベントチラシ掲示依頼。			
・子連れの来館者にイベントチラシの配布。			
目 標			
・白井市を拠点とするパフォーマーYu-ki(PomPom)さんの活動の周知。			
・イベントの少ない西白井地区の活性化。			
・子育て世代の親同士が知り合うための場になること。			
・コミブラの周知と利用促進。			
期 間	令和5年9月6日	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室1・2・3		
事業参加者への配慮等			
・乳幼児がよく知っている曲の選択。			
・他館へのチラシ掲示依頼			
・同時時間帯に子育てサロンも開催しており、サロンに来た方がイベントに、イベントに来た方がサロンに参加することができた。			
・			
・			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・参加者同士が仲良くなっていた。みんな笑顔で帰られた。			
・普段コミブラを利用しない家族が来館した。			
・			
・			
・			
・			
備 考			
・乳幼児にはちょうど良い時間配分だった。飽きることなく子どもが最後まで楽しめた。			
・			
・			
・			
・			
・			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	9月7日	乳幼児と保護者を対象とした歌と踊りを交えたエンターテイメント 参加者：14組 30人 (内訳 大人15人、子ども15人) 見学者：大人9人	同世代と知り合う為の懸け橋になる事。 コミブラの周知と利用促進。 パフォーマーYu-kiさんの周知活動。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	大人のならいごとシリーズ～手芸編～		
対 象	市内在住・在勤の大人		
参加人数	9人		
事業の課題と目標			
課 題			
・手芸をやりたいという方の要望に応える。 ・他館にはないような目新しい手芸講座の開催。 ・サンプルを館内に掲示し、どういう講座を行うのかわかりやすくする。 ・			
目 標			
・定期的にしているハンドメイド講座の周知と利用促進。講座の良さを知ってもらう。 ・同じ好きな趣味を持った仲間同士をつなぐ懸け橋になる事。 ・コミブラの周知と利用促進。 ・			
期 間	令和5年9月10日	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室3		
事業参加者への配慮等			
・サンプルを掲示し、事前にどういった物を作成するか知ってもらう。 ・先生が参加者を回り、ひとりひとりに丁寧に指導する。 ・糸切ばさみを持参してもらうことで、個人の手作業に集中してもらうことができる。 ・机1台3人掛けだが、2人掛けにし、ゆったり自分のスペースをとってもらう。 ・人気講座だったため、1枠増やした。 ・			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・サンプルを掲示したことで、何を作るのか疑問に思われた方たちをスムーズに案内することができた。 ・質問がある参加者が多かったが、先生がひとりひとり丁寧に対応した。 ・1つの机に2人と指定したことで、ゆったりスペースは保てるが、隣の方とも話しやすい距離を保てた。 ・講座を通じて仲良くなった方々がいた。 ・定期利用者が講座に参加してくれた。 ・			
備 考			
・手芸の講座は人気が高い。 ・手芸はお年寄りの特に女性に圧倒的に人気がある。 ・手芸講座はお年寄りが何かを始めるきっかけになりやすいのではないかと思う。 ・ ・ ・			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	9月10日	大人のならいごとシリーズ～手芸編～ ビーズ刺繍の技術を使用し、ペンダントトップを作成する。ブローチや帯留め飾りとしても使用できる。 専門の講師を招いて行う。	手芸講座を通じて講座やコミブラへ興味を持ってもらう。 お年寄りに何かを始めてもらうきっかけとなる事 手芸だと参加しやすい講座のため、いろんな方に参加してもらい、そのコミュニティづくりに寄与する。 コミブラのハンドメイド講座の良さを知ってもらう。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	しろい楽トレ体操		
対 象	65歳以上の市内在住者		
参加人数	5人		
事業の課題と目標			
課 題	・高齢者が無理もなく続けられる楽トレ体操の周知。 ・高齢者に寄り添った体操指導（白井市職員＋推進委員2名） ・通いやすい雰囲気講座づくり ・		
目 標	・健康維持への寄与。健康寿命を延ばしてもらう。 ・サークル化 ・コミブラの周知と利用促進。 ・		
期 間	令和5年9月22日～令和5年12月22日	回 数	事前説明会＋12回
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室3		
事業参加者への配慮等			
・体操だけではなく、色んな話をしながらコミュニケーションをとって仲良くなってもらえるように心がける。 ・スタッフからも積極的に声掛けなどを行い、気持ちよく体操に参加してもらう。 ・社会とつながりたいと参加している高齢者への架け橋となる。 ・ ・ ・			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・体操後に退館する時、参加者同士で楽しそうに会話をしている姿を見かけた。 ・笑顔が増えた参加者が多い印象 ・参加者同士も仲良くなり、これからも一緒に講座をしたいと思っている参加者が多かった。 ・ ・ ・			
備 考			
・講座中ではないが、プライベートの時間で肩や腰を痛め、通えなくなった方が3名いた。 ・希望の第2回目の開催だったが、複合センターと時期がかぶってしまい、参加者が少なかった。 ・おもしろを1人で交換することが難しい参加者の方がいる模様。推進委員の方が積極的に手伝われていた。 ・今回は参加人数自体が団体登録既定人数にぎりぎりであり、継続が困難だろうと判断し、サークル化に至らなかったが、このメンバーでの継続を希望していたため、残念がっていた。 ・前回の講座で、できた楽トレサークルに今回の方が仲間入りしたが、楽しそうに通われている。			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	9月22日	事前説明会 申込9人 高齢者福祉課のスタッフの方より「しろい楽トレ体操」についての説明が行われた。 参加者に健康に対して不安なことをお伺いした上で、楽トレ体操を行った際の効果についても説明した。	高齢者の健康維持のためのサポート シニア層のコミュニティ形成への寄与 新しい楽トレのグルーブの形成
2	9月29日	健康測定 参加者：4人 楽トレ開始前の体力測定 参加前に個々で血圧を測り報告 ①片足立ちができるかどうか ②椅子から立ち上がり、座ったりした時の負担 ③握力の測定	新しい楽トレグルーブの始める前と楽トレ後の数値を比べてもらう。
3	10月6日 10月13日	体操前半 参加者：6日5人、13日4人 体操のやり方の指導、おもりの説明など 前半の3つのみ行った。 歌に合わせてみんなで行う。 無理なくおこなってもらうため、おもりなどは最初は付けずにおこなっても良いとの説明を加えた。体操だけではなくいろいろな話をしながらコミュニケーションをとった。	参加者同士が仲良くなってもらい、体操だけではなく、楽トレにやることを楽しみにしてもらう。
4	10月20日	体操後半と通し 参加者：5人 梨トレ体操を行ったのち楽トレの後半の内容を行った。初めから通してで体操を行った。	参加者に体操の流れや内容を覚えてもらい、自分たちで行えるようにサポート。 自身で行えるようになると、サークル化への道が近き、シニア層への健康をサポートする。
5	10月27日	体操通し 参加者：5人 整理体操の、梨トレ体操を行ったのち、全て最初から一通り行う	参加者がそろそろ一通り講座の内容を覚えてきている様子。 サークル化に向けてサポート。

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	事業のねらい
6	11月10日 11月17日 11月24日	体操の通し 参加者：10日、17日、24日5人 推進委員の方が筆頭になり、休憩や脳トレをはさみながら最初から一通り行った。	健康維持への寄与。 講座参加者へサークル化を促す。
7	12月1日 12月8日 12月15日	体操の通し 参加者：1日3人、8日4人 15日5人 サークル化のご説明	健康維持への寄与。 講座参加者へサークル化を促す。
8	12月22日	健康測定 参加者：5名	健康維持への寄与。 講座参加者へサークル化を促す。
9			
10			

事業活動

事業名	大人のならいごとシリーズ～健康麻雀編～		
対 象	市内在住・在勤の大人		
参加人数	24人		
事業の課題と目標	課題 ・楽しい雰囲気講座づくり。 ・点数計算までできるようにするため、座学も盛り込む。 ・全くしたことがない方でも参加できるような初級講座の開設。 ・ 目 標 ・麻雀サークルの立ち上げ。 ・コミブラの活性化。 ・高齢者の脳トレをする場所となる。 ・		
期 間	令和5年10月1日～令和5年12月3日		
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室3		
事業参加者への配慮等	・今回は初級講座を開設し、全くルールを知らない方でも参加できるように、敷居を下げた。 ・座学とゲーム両方行うことで、より詳しく、より丁寧に麻雀について学ぶことが出来るようにした。 ・講座を10回することで、徐々にレベルアップすることができるよう設定した。 ・途中から入院された参加者がいたため、コミブラスタッフが代わりに参加した。（3人麻雀はルールが変わってしまうため） ・座学を行ったのち、すぐにゲームにうつれるように、椅子と麻雀卓の置き方の工夫をした。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・麻雀をやってみてみたいが何からやっても良いのかわからない、仲間が揃わないなど、麻雀を始めづらいと思っていた方にはピッタリの講座となり、大人気の講座になった。 ・サークル化した。 ・点数計算がすごく難しいようだったが、できるようになったと喜ばれた。 ・ ・		
備 考	・欠席者が出た場合、3人で打つ麻雀はルールが変わってしまうため、コミブラのスタッフが代わりに入った。 ・3名以上欠席になるとコミブラスタッフでは対応しきれない為、その時にどうするかが課題。 ・ ・ ・ ・		

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	10月1日～ 12月3日	麻雀についての座学とゲーム 【前半】パワーポイントと資料を使い、座学 【後半】ゲーム	問合せの多い麻雀講座を行うことで、コミブラの利用促進を促す。 サークル化。 脳トレ講座を行うことで体にも館にもウィンウィンの関係を築く。
2	1月14日 ～ 3月31日	追加講座2回目 内容については前回と同様の講座 交流戦の告知と募集	問合せの多い麻雀講座を行うことで、コミブラの利用促進を促す。 サークル化。 脳トレ講座を行うことで体にも館にもウィンウィンの関係を築く。
3			
4			
5			

事業活動

事業名	ハロウィンイベント～かぼちゃの重さ当てクイズ～		
対象	自由参加		
参加人数	62人		
事業の課題と目標			
課題	・ハロウィンを実感できるような大きいカボチャの購入し、クイズに使用する。 ・季節を感じるプレゼントの作成。 ・老若男女問わず参加できるクイズイベントの開催。 ・		
目標	・老若男女問わず参加できるイベントの開催。 ・コミブラの活性化。 ・ ・		
期間	令和5年10月15日～	令和5年10月30日	回数 1回
場所	西白井コミュニティプラザ ロビー		
事業参加者への配慮等	・コミブラスタッフ手製のビンヤータを、重さをピッタリ当ててくれた人の景品とした。 ・景品となるビンヤータ自体を知らない方もいると思い、サンプルを作成し、目に付くところへ掲示した。 ・ビンヤータの中に入れるお菓子の種類にも配慮した。叩いて割るビンヤータなので、割れにくい菓子にした。 ・応募用紙には本名でなくとも応募できるよう配慮。 ・ ・		
事業の成果（課題や目標に対して）	・イベントを知らない方もカボチャに気づき参加してくれる方が多かった。 ・年配のシニア層は景品よりも参加すること自体を楽しんでいる様子だった。 ・クイズのために来館する方もいた。 ・来館者の会話の糸口になった。サークルの終了後、帰り際にカボチャに気づき、クイズに楽しそうに参加している姿を見ることができた。 ・参加してくれた方々はみんな笑顔で重さを予想されていた。来館者を笑顔にできた。		
備考	・電話番号を記載してもらったことが一番のネックになっていたと思う。電話番号が分からず、書けない子どもが多かった。書けない子は参加できなかった。 ・ハロウィンにあたる、10月31日が火曜日で休館日だったため、1日早く切り上げ、30日に終了した。 ・ビタリ賞が当たった方にお電話をしたところ、すぐびっくりされ、喜ばれた。 ・ ・		

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	10月15日 ～ 10月30日	ロビーに設置してある応募用紙に予想したかば ちゃの重さを記載。 事務所の窓口に応募用紙を提出すると、引き換え に飴かラムネをもらえる。	イベントを通じて、コミブラになるべく足を運んでも らい、利用を促進する。 近隣にはあまりないイベントを行い、地域交流を生み 出す場となる。
2	11月5日	かばちゃの重さを量った。館内掲示板とSNS,HP にて重さの発表を行い、一番予想が近かった方へ 電話連絡した。	〃
3			
4			
5			

事業活動

事業名	やってみよう講座～バランスボール体操～		
対 象	50歳以上の市内在住・在勤者		
参加人数	20人		
事業の課題と目標	課題 ・シニア層でもできる体操だということをアピール。 ・体験講座でバランスボールをお貸しし、参加しやすくする。 ・バランスボールを知らない方のため、まず無料体験を行う。 目 標 ・バランスボールのサークルの立ち上げ ・シニア層の健康維持への寄与 ・バランスボール講座をコミブラで行いたいという近隣住民の要望に応える。 ・コミブラの活性化。		
期 間	令和5年11月13日	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室1・2		
事業参加者への配慮等	・体験料金は無料とし、参加への敷居をさげる。 ・バランスボールの高さを個人個人で調整して行った。 ・外は寒かったが、講座中に汗をかいている人もおり、クーラーを付けたり消したりしながら、参加者さんの様子を見ながら配慮した。 ・ ・		
事業の成果（課題や目標に対して）	・サークル化した。 ・西白井地区でバランスボールの講座がなかったため、サークル化することができて大変喜ばれた。 ・ ・ ・ ・		
備 考	・講座中の音楽を聞いて興味がわき、たまたま別の部屋でご利用時間が重なっていた利用者さんから参加したいとの問い合わせがあった。 ・参加者同士、運動を通じて交流が生まれた。 ・バランスボールの講座が西白井地区にはなかったことで、市民の方がバランスボールの先生に相談し、先生からコミブラで講座をして欲しいとの希望者がいる旨のお申し出があった。その市民の方もバランスボール講座に参加されて、率先してメンバーを集めてサークル化にまでこぎつけた。		

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	11月13日	バランスボールを使って、音楽に合わせて跳ねる。	シニアの方々の健康維持 人気があるバランスボールを使った講座を行い、サークル化を目指す。 地域の活性化。
2			
4			
5			

事業活動

事業名	アロマ講座～第4弾～アロマのハンドクリームとはちみつのリップクリーム作り		
対 象	市内在住・在勤の大人		
参加人数	5人		
事業の課題と目標			
課 題	・定期的にすぐに使えるハンドクリーム作り。 ・好きな香りを使って、自分だけのハンドクリームを作成してもらう。 ・少人数制に設定し、全員に分かりやすく、かつ満足してもらえるような講座にする。		
目 標	・コミブラの活性化と利用促進。 ・SDGsを意識した生活に切り替えてもらう。 ・地域交流の場となる。 ・アロマオイルへの理解を深めてもらい、コミブラで行うアロマ講座に興味を持ってもらう。		
期 間	令和5年11月26日	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ 調理室		
事業参加者への配慮等	・レジュメを作成し、帰宅後も自身で同じものを作れるように詳細を書いたレシピを渡した。 ・専門用語はあまり使わず、分かりやすい単語で説明する事を心掛けた。 ・少人数制にして、誰も取りこぼさないように配慮した。 ・アロマオイルに関する質問はハンドクリームの作成と関係ない物も何でも受けた。 ・手に入りやすい基材で作成できるようなレシピにした。 ・ハンドクリームの使用感だけではなく、持ち歩く容器にまでこだわった。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・作品を作るお話だけではなく、アロマオイルやハーブの話をたくさんすることで、使用方法などのお悩みや他の作品のつくり方などの相談にも乗り、理解と興味を深める講座になった。 ・今回の参加者の方々は趣味趣向の似た仲間が集まった為、周りの方とコミュニケーションを取りながら香りを選ばれた。お一人を除き、みんな同じ香りになった。		
備 考	・「これなら帰っても作れそう」「自分で作った物って自慢だ」「容器が可愛い」など沢山のお声を頂いた。		

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	11月26日	申込6人、欠席者1人 アロマオイルを使用して、ハンドクリームと はちみつを使ってリップクリームを作成した。	物作りを通してアロマオイルに親しみを持ってもら い、効能を満喫してもらおう。 趣味趣向が似ている方とのコミュニケーションの場と して活用してもらおう。 手作り化粧品品の良さを知ってもらおう。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	大人のならいごとシリーズ～折り紙編～		
対 象	市内在住・在勤の大人		
参加人数	14人		
事業の課題と目標			
課 題	・お花のくす玉を作成する。 ・折る過程が多いため、講座を全2回にして行う。 ・サンプルを館内に掲示。 ・		
目 標	・折り紙を通じて地域交流の場になる。 ・市民の方からの要望を聞き、市民講師として講座を行ってもらう。 ・何か始めたいと思う方の想いに寄り添うこと。 ・コミブラの活性化と利用促進。		
期 間	令和5年11月29日、12月6日	回 数	2回
場 所	西白井コミュニティプラザ 調理室		
事業参加者への配慮等			
・使用するポンドをテーブルの真ん中に置いて、みんなが使いやすいようにする。 ・個々が聞きやすい環境を整え、各テーブルにスタッフを配置した。 ・先生だけではなく補助に入ったスタッフも先生同様対応できるよう折り方を学んで講座にあたった。 ・ポンドの使い方や小さいテクニックも惜しみなく披露した。 ・ ・			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・参加者の方が笑顔で帰られた。 ・定期的に参加したいというお声があった。 ・いつもは一人でやっている折り紙をみんなで作ることによってコミュニケーションが生まれて、新鮮な体験だったという意見が多かった。 ・市民講師の方が良い点も悪い点も大変勉強になったと帰られた。 ・			
備 考			
・初日に分かりづらいうちのお声があったため、2日目にコミプラススタッフが補助に入り、個々に対応した。 ・ ・ ・ ・ ・			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	11月29日	お花のくす玉作り 参加者：14人	折り紙を通して、地域交流をはかる場となる。 市民講師の起用。 コミブラの周知と利用促進。
2	12月6日	お花のくす玉作り 参加者：13人	〃
3			
4			
5			

事業活動

事業名				コミブラクリスマス リズムあそぼう～クリスマス version～			
対 象				0歳から2歳くらいまでの親子			
参加人数				52人			
事業の課題と目標							
課 題							
・子ども向けで季節感のあるイベントの内容の検討。 ・館内外でのイベントの告知。他館へのチラシの掲載依頼。 ・コミブラに遊びに来てくれた親子へ口頭でもイベントを告知。 ・子どもが飽きず、疲れない程度の時間と内容の設定。							
目 標							
・イベントを通じて親子でコミュニケーションをとれる場となる。 ・コミブラの活性化。 ・白井市在住のパフォーマー村山友樹さんの活動の周知。 ・コミブラクリスマスイベントを成功させる事。							
期 間		令和5年12月10日		回 数		1回	
場 所		西白井コミュニティプラザ 会議室1.2					
事業参加者への配慮等							
・小さいお子さん向けのイベントでプログラムにお子さんを寝かせて行う回があったので、プレイマットを利用した。 ・公演時間を小さい子の集中力が続く20分に設定した。 ・当日受付も可能にした。 ・クリスマスが近いという事で、サンタさんとトナカイさんも登場した。 ・受付の時に、無料配布でまじろうの手洗いブックを差し上げた。							
事業の成果（課題や目標に対して）							
・アンケート結果で講演時間がちょうど良かったという回答が多かった。 ・席の指定がなかったが、プレイマットを置いたことで座りやすい環境を作ることが出来た。 ・イベントに来られた方より、子ども室の利用について聞かれ、コミブラの周知につながった。 ・お子さんも親御さんもニコニコで退館された。 ・ ・							
備 考							
・イベントが始まるまでの5～10分の時間つぶしに、窓口で配った手洗いブックが活躍したようだった。 ・幼稚園でのお友達同士で電話をしてこられたグループがいた。申込みに関しては個々でお願いしますとお伝えしたため、再度個々でお申込があった。 ・ ・ ・							

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	12月10日	PomPomと一緒にリズム遊び。 サンタとトナカイも登場。 参加者：18組 52人 (内訳 大人26人、子供26人)	小さいお子さんと保護者の方の思い出に寄与すること。 イベントを通じてコミブラを知ってもらい、利用を促進する事。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	コミブラクリスマス コミブラサンタGreeting		
対 象	一般		
参加人数	48人		
事業の課題と目標			
課 題	・来館してくれた子にバルーンをプレゼントする。 ・トナカイさんや足長さん、ふわりお姉さんから積極的に参加してくれてきている子に声をかける。 ・サンタさんたちと写真を撮れる。 ・		
目 標	・サンタを信じる子どもに寄り添い、夢を実現する。 ・思い出作りに寄与すること。 ・去年度行っている、クリスマスイベントを成功させる事。 ・コミブラの活性化。		
期 間	令和5年12月10日	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ ロビー		
事業参加者への配慮等	・お手紙を書いて持ってきた子にはスタッフより手書きの返信を書いた。 ・来館者のお子さんにはみなさんにクリスマス仕様のバルーンをあげた。 ・来館してくれた一人一人に声をかけ、コミュニケーションをとった。 ・ ・ ・		
事業の成果（課題や目標に対して）	・手紙を書いて来てくれた子にサンタさんを装って返信した際、すごく喜んでくれた。 ・サンタや足長さん達と素敵な時間を過ごしてもらうことができた。 ・記念撮影する時間をゆっくりとることができた。 ・ ・ ・		
備 考			
・			
・			
・			
・			
・			
・			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	12月10日	サンタ、トナカイ、足長さん、歌のお姉さんとの グリーティングイベント 大人19人、子供29人	来館者に季節のイベントを楽しんでもらい、日常的に コミブラを利用してもらえるような場所となる。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	ハンドメイド講座 しめ飾り作り
対 象	市内在住・在勤者
参加人数	20人
事業の課題と目標	課題 ・ペーパーヤーンを使用し、しめ飾りを作成する。 ・クラフトセットとは違い、自分の好きなようにアレンジしてもらう。 ・講師の方に指導していただくことで、通リ一遍の説明ではなく、作品の幅をひろげてもらう。 目 標 ・ハンドメイドの良さを知ってもらい、生活を充実したものにしてもらう。 ・講座を通して、コミュニケーションの場となる事。 ・コミブラの活性化。
期 間	令和5年12月17日
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室1・2
事業参加者への配慮等	・紙を使ったしめ飾りだったが、外にも飾れるように、雨風にも耐えられる防水効果のある造花用の糊スプレーを使用した。 ・去年の講座で作成したしめ縄飾りの稲わらだと、作業前に水に浸す必要があり、湿ったままだとポンドとの相性が悪く、なかなか装飾が付けられなかったため、今回は素材自体を見直し、ペーパーヤーンにした。
事業の成果（課題や目標に対して）	・作ったしめ飾りを喜んでくれる方が多かった。 ・またものづくりをコミブラでしたいという方がいた。 ・講座をきっかけにコミブラを知ってもらったことができ、施設自体を気に入ってくれた方がいた。 ・作成したしめ飾りをさっそく家で飾ろうと思うとおっしゃる方がいた。
備 考	

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	12月17日	ペーパーヤーンを使用して、お正月に飾る、しめ飾り作り。 15組（20人）	ものづくりの良さを知ってもらう事。 イベントを通じて、コミブラのハンドメイド講座の良さを知ってもらう。 コミブラの周知と利用促進。 講座を通して、いろいろな方のコミュニケーションを取れるようにすること。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	書初め教室
対 象	市内在住の小中学生
参加人数	16人
事業の課題と目標	
課 題	
・冬休みの宿題である、書き初めを課題とする。 ・講座内で先生や生徒が話しやすい雰囲気づくり。 ・お手本などの事前準備。 ・	
目 標	
・小中学生がシニアの講師に習字を教えてもらいながら、課題を仕上げる。 ・世代を超えた地域交流の場になる事。 ・コミブラの活性化。 ・	
期 間	令和5年1月5日
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室1・2
事業参加者への配慮等	
・教室を2部制にし、なるべく多くの子どもに参加してもらう。 ・前年度の反省を踏まえ、余裕をもって今回は1時間とした。 ・申込時に手本がないという子のため、先生に手本を準備してもらった。 ・事前準備をお願いを申込時に参加者に丁寧に伝えた。 ・保護者の方が子ども側の側にもつけるよう、部屋をオープンにし、出入りしやすい雰囲気にした。 ・	
事業の成果（課題や目標に対して）	
・こどもだけではなく、保護者の方からもよろこばれた。 ・講師が生徒個々のレベルに合わせて指導してくださったおかげで、上手に課題を仕上げていた。 ・毎年やっているのかと、参加者の保護者に聞かれた。毎年参加したい様子だった。 ・ ・ ・	
備 考	
・去年までは学校から手本が配られていたが、今年からないところもあったため、持っていない子にはこちらで準備した。 ・一人ずつごく上手な子がいて、先生がべた褒めしていた。 ・ ・ ・	

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	1月5日	冬休みの宿題の書初めを仕上げる。	世代を超えた地域交流の場となる。 子どもたちの生活に寄り添う。 コミブラの周知と利用促進。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	バレンタインクッキングPHOTO ～バナナとチョコの蒸しケーキ～		
対 象	未就学児から小学校3年生まで（保護者同伴）		
参加人数	22人		
事業の課題と目標			
課 題	・クッキングをしている姿を撮ってもらおうことで、自然な姿を写真に残せるようにする。 ・対象年齢のご家族が来た時に、スタッフが口頭で告知をする。 ・お料理教室に参加したいという要望に応える。 ・		
目 標	・親子で一緒に料理をしながら写真を撮ってもらおうことで、日常のーこまを切り取ったような写真と思い出をコミブラで体験して、形に残してもらおう。 ・コミブラと84cameraさんの周知。 ・他館にあまりないクッキングと撮影会の合同イベントを成功させる。		
期 間	令和6年3月17日	回 数	2回
場 所	西白井コミュニティプラザ 調理室		
事業参加者への配慮等	・レシビを簡単にして、小さい子がメインで調理に参加できるように工夫。 ・小さい子が対象のため、撮影時間を短く設定。 ・2部構成にして、講座自体の人数は少人数だが、たくさんの方に参加してもらえよう講座を企画した。 ・受付時にトラブルがないように、スタッフ間でしっかり情報共有をした。 ・ ・		
事業の成果（課題や目標に対して）	・トラブルもなくスムーズに受付をすることができた。 ・親子クッキングの需要が高いことが分かった。 ・参加者は調理方法などを知りたくて参加するのではなく、親子で作るという体験を求めている。 ・ ・ ・		
備 考	・2月3日に開催予定だったが、講師都合により急遽日程を変更。バレンタイン時期がすぎってしまったにも関わらず、欠席者が1組も出ず、全員参加だった。 ・ ・ ・ ・		

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	3月17日	チョココとバナナの蒸しケーキを親子で作り、その写真をブログに撮ってもらう。 参加者：大人9人 子供13人	コミブラで一生涯思い出に残るような写真を撮ってもらい、地域住民の方の生活に寄り添う。 自分たちでは撮ろうと思っても撮れないような写真をコミブラで撮ってもらう事。 8 4 cameraさんの活動を応援する。 コミブラの周知と利用促進。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	自習室解放(中高生限定)		
対 象	市内在住・在学の中高生		
参加人数	延べ442人（登録者数86人）		
事業の課題と目標	課題 ・中高生の勉強の場として、会議室かロビーを自習室として開放する。 ・地域ぐるみで学生を見守りを行っていく。 ・子どもたちの勉強のしやすい環境、騒ぐ子がいかなど徹底して管理する。 目 標 ・中高生の居場所になる。 ・ルールを遵守する大切さと信頼に応える意思の強さを養ってもらう。		
期 間	令和5年4月～令和6年3月	回 数	毎日（休館日を除く）
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室、ロビー（日替わり）		
事業参加者への配慮等	・会議室の定員が30名のところ、自習室の定員を20人と部屋の収容人数よりも少なくすることで、ゆとりとした環境での学習環境を提供する。 ・事業の主旨を正しく理解してもらうため、保護者への説明を行ったうえで、利用上の注意を遵守することに同意した場合に限り、利用証を発行した。 ・自習室提供中は扉を開放し、自然に中が伺えるようにしたが、集中力を途切れさせないように、暖簾をかけ工夫した。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・すでに登録している学生が友達を連れて登録に来るようなケースも見受けられた。 ・自習室に来ている学生には3年生が多く、志望校に合格したなど報告を受けることもある。 ・ ・ ・ ・		
備 考			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月1日 ～ 3月31日	休館日を除く、17時から20時にコミブラ自習室を開放する。事前登録した中高生が事務所窓口で利用者証を提示し、名簿に記入後に入館。入退館時は時刻を記入する。職員は定期的に館内を見回り、趣旨を逸脱した利用をしていないか等確認する。	近隣在住の中高生に自習室として、会議室、またはロビーを開放し、勉強環境を提供する。またセンターが身近な存在であることを感じてもらい、地域ぐるみで子ども達の成長を見守っていく。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	放課後倶楽部 ここいこ。	期 間	令和5年11月～令和6年3月	回 数	毎月第1・3金曜日
対 象	小学生～高校生	場 所	西白井コミュニティプラザ 子ども室		
参加人数	登録者4人				
事業の課題と目標	課題 ・学びの日と遊びの日を設ける。 ・答えを押し付けず、一緒に考える場にあること。 ・子どもの気持ちの寄り添う。居心地の良い、楽しく安全な場にする。 ・周知活動のフォローアップ。 目 標 ・居場所のない子にとって安心安全だと思える場所にする。 ・地域が抱える問題を受け入れる。 ・ ・ 事業参加者への配慮等 ・答えを押し付けず、考える機会を奪う場でもない。一緒に考える場にする。 ・必ず何かをしないといけないわけではないため、学びと遊びの日が設定してはあるが、自由に過ごせるようにする。つまらなければ帰宅も可能。 ・プライベートなことを知る機会がある場でもあるため、秘密厳守の徹底。 ・来ている子のやりたいことを尊重する。 ・ 事業の成果（課題や目標に対して） ・子どもが楽しそうに来ている。 ・ ・ ・ ・ ・				
備 考					

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	11月17日 ～ 3月15日	【遊びの部】第1金曜日 遊びを主とする動の日。各自が持参したカード ゲームや全体で遊べるレクを取り入れる予定。 【学びの部】第3金曜日 学びを主とする静の日。各自が学びたい教材を持 ち寄り、希望者には学習支援を行う。	最終的な子ども達の受け皿となる事。 子どもの居場所になる事。 子どもの自己肯定感をあげる場所となる。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	子育てサロン「子育ておしゃべり会」		
対 象	0歳～3歳の子どもと保護者		
参加人数	延べ32人		
事業の課題と目標			
課 題	・子育てサロンの開催。 ・安定継続的に実施できるよう開催場所の確保 ・周知活動のフォローアップ ・地区社協のボランティアスタッフが常駐することで中に溶け込みやすい雰囲気にする。		
目 標	・地域コミュニティの形成の場として憩いの場とする。 ・同じ子育てをしている者同士、悩みを分かち合ったり相談し合えたりすることができる。 ・社会と隔離されたような孤独感などを取り払い、子育てを楽しむ。 ・		
期 間	令和5年12月～令和6年3月	回 数	毎月第2水曜日
場 所	西白井コミュニティプラザ 和室1・2		
事業参加者への配慮等			
・外からでも中の様子が見れるようにドアを開けたまま活動する。 ・入ったそうの方がいれば、スタッフの方から積極的に声をかけをし、安心感を持たせる。 ・子どもが遊んでいる姿をみんなで見守る。 ・母親の話をしっかり聞く。 ・おもちゃなども持参し、子どもが退屈しない空間を作る。 ・			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・サロンに来ていた方が、子ども室の利用に来てくれることがあった。 ・ ・ ・ ・ ・ ・			
備 考			
・			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	12月13日 ～ 3月13日	同じように子育てをしている仲間と交流できる憩いの場 子育て悩み相談	子どもと親が居心地の良い場所となる。 同じような悩みを持つ世代の交流の場となる。
2			
3			
4			
5			